

会報 よろこび

第80号

発行 茨城よろこびの会

<http://www.ibasouken.org/yorokobi.html>

平成 27 年 4 月 1 日発行



花いっぱいの茨城県立中央病院（写真：永井 秀雄）

よろこびの会のよろこび

茨城県立中央病院名誉院長 永井 秀雄

茨城県立中央病院院長をこの3月に辞め、4月から非常勤医師として引き続き同じ病院に勤めることになりました。

医師になって40年あまり、手術だけでも4千件以上に関わりました。手術以外やご家族まで含めると万の単位の方々と医療の現場でお会いしたことになるかもしれません。思い出深い患者さんの一番は、あるいは二番は、と考えても、どの方にもさまざまな思い出があり、比較などとうていできません。

代わって、眼前の一瞬の顔つき、まなざし、ことば、が前後の脈絡なく、脳裏に浮かんで来ます。そのときに自分が受けた衝撃、自分の中の葛藤、自分から発した言葉も、間髪を入れず思い起こされます。

疾病別では救急の場面も少なくありませんが、救急よりも流れのゆるやかながん診療の場面が、やはり多数を占めます。確定診断がついた瞬間、「患者さんはまだ知らない・・・」。あの重苦しくも鮮烈なイメージが、脳裏に焼き付いて離れません。告知のときの、静かに深く沈んだ雰囲気を感じることもあります。手術の一場面も浮かんで来ます。

治療中の辛い時期、治療完了の喜びの時期、平穏な時間が過ぎていく安堵の時期。再発が明らかになったとき、その直後に再起を誓い合ったとき。それぞれのときに交わされた言葉の端々が胸に迫ります。

お別れもありました。悲嘆にくれる間もなく次の診療に迫られる毎日に、矛盾を感じることも少なくありませんでした。それでも、ご家族からのありがたいお言葉に何度涙したことでしょうか。ほほ笑みかけてくる写真にも、ずいぶん救われました。

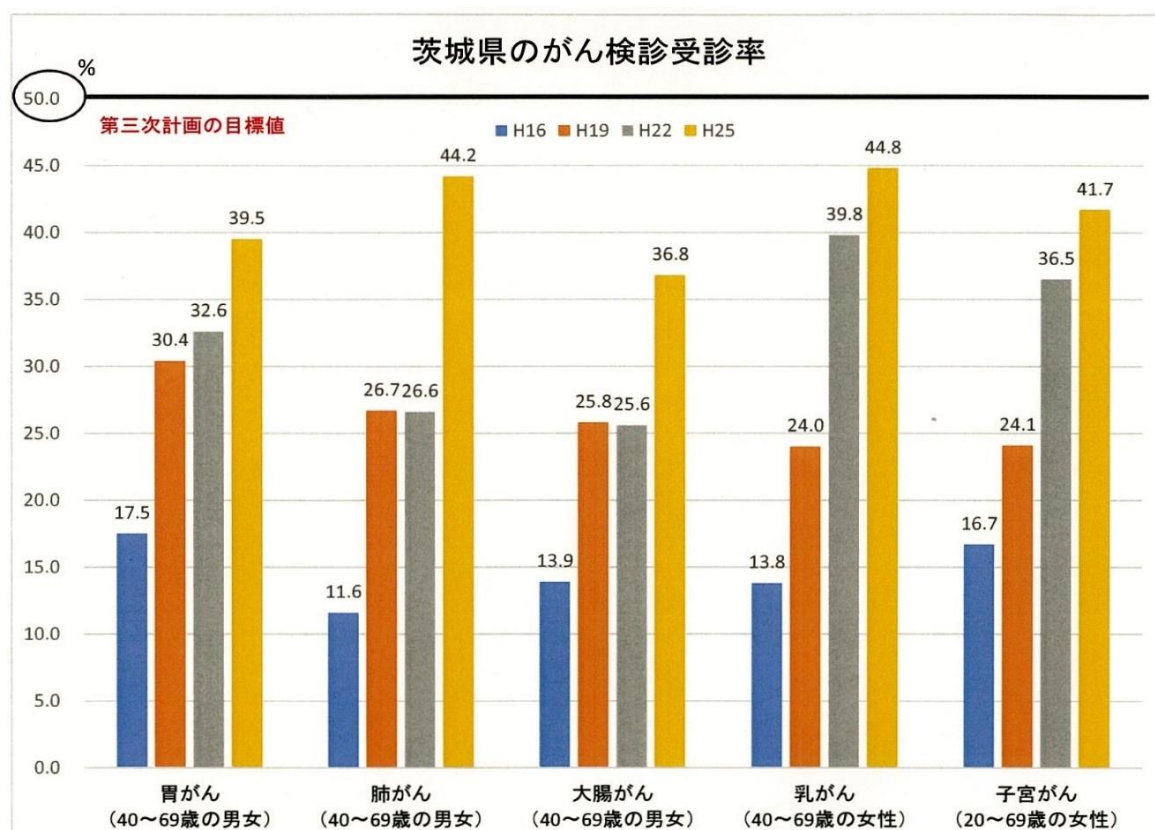
自分が今もこうして現役でいられるのは、まさに患者さんはじめ多くの方々からいただいた喜びの賜物です。よろこびの会の皆さまにお会いしてから、よろこびの会のよろこびこそ、医療にたずさわる私どもの生きる糧になっていることを、ひしひしと感じます。あらためて感謝申し上げます。

平成 27 年 2 月 13 日（金）茨城県立健康プラザで開催されました。参加者は、200 名を超え、大半が女性でした。男性は数えるほどで、いかに女性の「がん」への関心が高いかが伺えます。

茨城県は、平成 29 年までにがん予防推進員を 10,000 名養成する計画を立てています（平成 25 年度で 7,421 名）。また、がん検診推進サポーターは、5,000 名を養成する計画です（平成 27 年 1 月現在 1,102 名）。

受講者は、がん予防推進員として登録されます。履修項目は下記の通りで、「がん体験談」では、茨城よろこびの会から会員の加藤 格司さんが「私のがん体験」と題し、講演をされました。加藤さんは、年次別がん経過と特に免疫についての関心が高く、自分の血液データを参考にして説明されるなど、会場の関心を集めておりました。講演を通じて、特に印象に残ったのは、「乳がん」「子宮がん」は 40 歳をピークに（時間をかけて）発症すること、「大腸がん」も女性に多いことなど、検診での早期発見・早期治療の大切さを改めて感じました。

履修項目	時間	講師
茨城県のがん対策	9：20～ 9：50	県保健福祉部保健予防課
がんの一次予防	10：00～11：30	国立がん研究センター がん予防・検診研究センター 予防研究部 室長 島津 太一 先生
がん予防推進員の活動内容	11：30～11：50	がん予防推進員
肺がんの早期発見・早期治療	13：00～13：50	茨城県立中央病院副院長 鎗木 孝之 先生
がん体験談	13：50～14：20	茨城よろこびの会 加藤 格司 先生
乳がんの早期発見・早期治療	14：30～15：20	水戸医療センター 院長 植木 浜一 先生
がん予防食	15：20～15：50	石岡市食生活改善推進員連絡協議会 大岡 芳子 先生



※「国民生活基礎調査」より

※乳及び子宮がんは、H16、19 は過去 1 年間、H22、25 は過去 2 年間の受診率

命を大切に前向きに生きよう

会員 田所 厚子

平成 27 年 1 月 26 日（月）、茨城よろこびの会新年会が水戸京成ホテルレストラン「&me」にて 24 名の参加で行われました。

飯田会長から、「命を大切に皆さん前向きで一年頑張りましょう」との挨拶があり、星 昌さんが乾杯の音頭をとってくださいました。皆さんのそれぞれの近況と抱負を聞き、治療も生き方もとても前向きで、お元気な様子がうかがえました。挨拶の後は、美味しいお料理をいただきながら、様々な話に花が咲き楽しいひと時を過ごしました。



参加者の皆さん

<メインのお料理>

＊ポークのやわらか煮

＊白身魚と有頭えび

＊エッググラタン

（写真右）



レディスピア県央新年会に参加して

レディスピア県央 久保田 則子

七草が終わった平成 27 年 1 月 8 日（木）、14 名の参加でレディスピア県央の新年会がありました。部屋の中央テーブルには今年の干支の「ひつじ」の飾り物と会員の活けた生花が飾られ、素敵に演出されていました。それらを囲んで、それぞれの近況報告、体調の様子など語り合いました。そして楽しみにしていた昼食は、近くの食事処より特製の豪華お弁当と、こちらでも会員が準備した柚の香のお吸いものに舌鼓を打ちました。



10 年ぶりに出席された会員にもお会いし、嬉しくなりました。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

塚田代表を偲ぶ会

レディスピア県西 副代表 大月 いち

昨年の 9 月に代表とお別れしてから早いもので 5 ヶ月が経過しました。そして、会員の谷田部さんを後任の会長に迎え、平成 27 年 2 月 7 日（土）に「塚田会長を偲ぶ会」を開催することができました。

二部構成で、前半はハーモニカ演奏。ハーモニカ愛好家 5 名の皆さんがボランティアで演奏を聴かせてくださいました。約一時間、進行までお任せし素敵な音色を楽しませていただきました。多様な音色の違いでアンサンブル曲を 4 曲、そして塚田さんがこよなく愛した「花が咲く」や「故郷の空」などをハーモニカに合わせ皆で合唱し、塚田さんの人柄や思い出を偲び合いました。

後半は、会員一人々が塚田さんとの思い出を語り披露していきました。塚田さんは、ご自身を「がんのデパート」と表現され、「乳がん」の発症を皮切りに、40 代の頃から 36 年もの長きにわたり「肝臓」、「骨」、そして最後は「脳」への転移がありました。

そんな中であっても、農村の婦人の地位向上や健康増進の普及活動の最先端で活躍されていたのですね。また、趣味も多く大正琴や編物などの腕前も超一流でした。一昨年、講師の方と一緒に会員に指編みマフラーの作り方を教えていただいたことも記憶に新しいことです。また、ユーモアに富んだ方で、川柳なども楽しんでおられました。

一方、よろこびの会とのパイプ役としても会をリードしてくださり、最期は、病床にありながらも同じ病で苦しむ人の役に立ちたいと、最後の力をふり絞って、お話されていましたね。

悔いのない生き方を全うされた塚田さんを教訓として会員一人々の学びにしようと誓い合いました。心から感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

茨城よろこびの会30周年とがん対策の歴史

年月	茨城よろこびの会創立30周年のあゆみ
昭和33年（1958）	
昭和35年（1960）	
昭和37年（1962）	
昭和43年（1968）	
昭和56年（1981）	
昭和58年（1983）	
	茨城よろこびの会設立（6月1日）安島 光二会長
平成 2年（1990）	第1回がんフォーラム「がん予防」村上穆先生
平成 3年（1991）	第9回全国よろこびの会総会を水戸市で開催
平成 6年（1994）	
平成11年（1999）	第27回小平賞 安島光二会長受賞（10月7日）
平成13年（2001）	第19回全国よろこびの会総会を茨城県大洗町で開催
平成15年（2003）	レディースピア発足（2月8日）
平成16年（2004）	
平成17年（2005）	
平成18年（2006）	
平成19年（2007）	第1回茨城県総合がん対策推進計画検討委員会に安島光二会長が参加
平成21年（2009）	* 「茨城健康づくり推進事業功労者表彰」 当会受賞（2月17日） * 安島会長退任（名誉会長に就任） * 飯田則子氏会長に就任。新体制スタート * 創立25周年記念式典（11月6日） ・ 永年功労会員38名に感謝状贈呈 ・ 同時開催「第20回がんフォーラム」
平成22年（2010）	茨城よろこびの会創立25周年記念「蘇葉」vol.5発行（5月1日）
平成23年（2011）	
平成24年（2012）	第30回全国よろこびの会総会をつくば市で開催
平成26年（2014）	* 安島光二会長逝去（3月17日・享年88） * 第32回全国よろこびの会総会参加（6月19日～20日） 宮城県松島温泉 * メンズピア発足（10月） * 創立30周年第22回がんフォーラム開催（11月25日）
平成27年（2015）	会報「よろこび」第79号発行（1月1日）

がん対策の歴史	
日本対がん協会発足。黒川 利雄氏（東北大学教授）が理事及び宮城県対がん協会会長に就任	
東北大学の黒川 利雄氏が中心となり、X線装置を載せた巡回検診車を開発し、胃がんの巡回検診を開始。（国内初の胃がん検診）	
国立がん研究センター設立	
がん治癒者の会「みやぎよろこびの会」が発足	
＊悪性新生物が死亡原因の第1位となる	
＊茨城県総合健診協会設立（4月1日）	
治癒者の会「全国よろこびの会」が発足	
第1回全国よろこびの会総会開催	
対がん10ヵ年総合戦略策定（～平成5年度）	
がん克服10ヵ年戦略策定（～平成15年度）	
第3次対がん10ヵ年総合戦略の策定（～平成25年度）	
がん対策推進本部設置（5月・厚生労働省）	
＊がん対策推進室設置（4月・厚生労働省健康局）	
＊がん対策基本法成立（6月）	
＊国立がん研究センター内にがん対策情報センター設置	
＊がん対策基本法施行（4月）	
＊がん対策推進協議会設置（4月）	
＊がん対策推進基本計画策定（6月・閣議決定）	
＊「茨城県総合がん対策推進計画～第二次後期計画～」作成	
＊がん患者・家族支援の推進（ピアカウンセリング）	
東日本大震災（3月11日）	
茨城県がん死亡者数8,300人（全国360,963人）	
＊2014年のがん統計予測（国立がん研究センター）	
罹患者数 約88万人 死亡者数 約37万人	
＊「茨城県総合がん対策推進計画～第三次計画～」（平成25～29年度）	
～教育と生活に根ざしたがんへの取組み～	
＊茨城県「いばらきのがんサポートブック」発行（12月）	
「がん拠点病院・ピアサポート・がん患者サロンと患者会など」	
＊ピアサポート窓口	
ひたち窓口「（株）日立製作所日立総合病院」 かさま窓口「茨城県立中央病院」	
つちうら窓口「総合病院土浦協同病院」 あみ窓口「東京医科大学茨城医療センター」	
みと窓口「水戸医療センター」	

レディスピア出前講座「高齢者をねらう悪質商法」

会員 田野 百合子



平成 27 年 2 月 12 日（木）、茨城県消費者センター消費者教育講師 河村 静子さんをお迎えし、昨今の悪質商法のなかなか減少しない現実を勉強しました。騙す側の手口が年々巧妙になり「私は大丈夫」と思っている人でも気がついたら騙されてしまった、いくつかの事例を紹介した DVD を見て、学びました。

←メモを取りながら、熱心に話を聞く参加者

1 <ニセ電話詐欺>

「息子を名乗ってお金を請求する」

主な手口：オレオレ詐欺・架空請求詐欺・融資保証金詐欺・還付金詐欺



2 <利殖商法>

「必ず儲かる」

主な商品：商品相場・証券投資信託・株・分譲マンション

3 <点検商法>

「無料で点検します」

主な商品：浄水器・ふとん・耐震工事・床下換気扇・屋根瓦補修



4 <次々詐欺>

「次から次へと勧められる」

主な商品：ふとん類・アクセサリー・エステ・和服・リフォーム工事

5 <催眠商法>

「今日だけ特別 30 万」

主な商品：ふとん類・電気治療器・健康食品

6 <開運商法>

「先祖のたたりで不幸になる」

主な商品：印鑑・祈祷・数珠・金運石



このようにいろいろな悪質商法があります。この時期、医療費還付など還付金詐欺が多発しています。怪しい電話は直ぐに切って、絶対お金を支払わない、儲け話には手を出さない、安易に会場には行かない、きっぱりと断る、一人で判断しない、慌てないで本人に確認することが大切です。

もし、契約してしまった時は、あきらめないで 8 日以内にクーリングオフ（無条件解除）をする。8 日の期間が過ぎても、まずは茨城県消費者センターに相談してください。共に考え、問題解決にアドバイスをしてくれる行政機関です。不本意に契約してしまった場合、クーリングオフ制度（8 日又は 20 日）が適用されます。

最近は公的機関（市役所、税務署、警察署）などを語って勧誘してきますので、知らない人の電話など不審に思ったら、どんなことでも消費生活センター（下記）に問い合わせてください。



平日 029-225-6445

土・日・祝日

まもろ一よ みんなを

0570-064-370

茨城県より補助金の交付がありました（報告）

茨城県よろこびの会では、平成 26 年 5 月 13 日に福祉団体等支援事業費補助金の交付申請を行い、この 3 月に交付を受けました。補助金は県内在住の匿名の方からの寄付金を原資としているそうです。補助金の交付金額は、10 万円です。平成 26 年度の会計に計上させていただきましたことを報告いたします。

会報「よろこび 81 号」へ原稿お願い

平成 27 年 7 月発行の会報「よろこび 81 号」への原稿を下記により募集しています。

◆テーマ・・・「近況報告」、「私の自慢」、「私の趣味」、「最近読んだ本の感想」等

◆字 数・・・原稿は、600 字以内（原稿用紙またはワープロ）

◆送付先・・・郵 送：〒311-4145 水戸市双葉台 2-32-4 飯田 則子 宛

メール：k-kikaku@ibasouken.org （公財）茨城県総合健診協会 経営企画室

◆締切り・・・平成 27 年 5 月 31 日（日）



会員の募集



よろこびの会では、常時、新会員を募集しております。がん患者の方、がん体験者の方をはじめとし、その関係者や会の活動に賛同してくださる方まで、どなたでも入会できます。

茨城よろこびの会入会ご希望の方は、当会事務局までお問い合わせください。

女性ドライバーの特徴

会員 加藤 格司

交通事故の多くは男性ドライバーが起こしているなか、このような記事を書くのは女性ドライバーには大変失礼かもしれませんが、敢えて私が日頃感じていることを記します。

何といっても女性ドライバーは無意識のうちに制限速度を守っていることが最大の特徴です。これは、賞賛に値します。しかし私の観測では、そうではない特徴も見られます。

第一に、ウィンカーを出すタイミングが遅いこと（※）。特に右折の際に、あらかじめウィンカーを出してから右にハンドルを切るのではなく、ハンドルを切ってからウィンカーを出す方が多いように思います。これでは後続車がびっくりします。

次に横断歩道の停止線について。横断歩道には、手前に引かれた停止線がありますが、これを越えて停まります。横断歩道のゾーンにさえ入らなければ良いと勘違いをしている方が多いと思います。

この 2 点のルール違反は、男女比で 7 割ぐらいを女性ドライバーが占めていると見ています。

何はともあれ、男女を問わず交通ルールを守って、安全運転を心がけましょう！



※道路交通法では、右左折の合図は右左折をしようとする地点から 30 メートル手前の地点に達したとき。進路変更の合図は進路を変えようとする 3 秒前と定められています。

行事予定

○リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 in 茨城 (がん患者支援チャリティーウォークイベント)

- ・日 時 平成 27 年 5 月 16 日 (土) 12:00 受付開始 ～17 日 (日) 12:00 終了
- ・会 場 研究学園駅前公園 (つくば市学園南 2-1)

○茨城よろこびの会「平成 27 年度総会」

- ・日 時 平成 27 年 5 月 30 日 (土)
- ・場 所 茨城県立健康プラザ 3F 会議室 (水戸市笠原町 993-2)

○全国よろこびの会総会

- ・日 時 平成 27 年 6 月 11 日 (木) ～12 日 (金) 1 泊 2 日
- ・場 所 長野県千曲市上山田温泉「ホテル清風園」

○レディスピア県西例会 5 月 2 日 (土) 食事会 割烹「大森」

6 月 6 日 (土) しもだて地域交流センターアルテリオ

○レディスピア県央例会 4 月 19 日 (木) 水戸赤塚駅前ミオスビル「総会」

5 月 4 日 (木) " 「フットケアを学ぶ」

6 月 4 日 (木) ※ " 出前講座「高齢者の福祉制度」

(※6 月のみ第 1 週木曜日に開催)



年会費納入のお願い

新年度となりましたので、年会費の納入をお願いいたします。年会費は 1,000 円です。年会費は、会合のときに会計に直接納めていただくか、銀行又は郵便局でお振り込みください。

＜お振込先＞

・銀行振込 常陽銀行 本店 普通 6 8 4 8 2 3 9
茨城よろこびの会 会長 飯田則子

・郵便局振込 通帳記号 1 0 6 4 0
口座番号 2 7 0 5 7 1 8 1

＜お問い合わせ＞ (公財) 茨城県総合健診協会 TEL 029-241-0011 (代表) 担当: 亀代^{かめしろ}

編集後記

今年は未年、年頭の書は(節)で、節操、節約とアベノミクス第 3 の矢の成功が期待されます。4 月からは、9 年ぶりの介護事業者の報酬単価が平均 2.27%と大幅に引き下げられます。特別養護老人ホームへの入所資格は要介護 3 以上になるなど、介護難民は益々増えて終の棲家さえも迷うことになるでしょう。社会の変動に敏感になり、自分らしく工夫して、元気に過ごしましょう。(広報委員 浜崎 昭一)

発行人 茨城よろこびの会(がん患者と家族の会) 会長 飯田 則子	編集印刷 (株)ビーエムサービス
事務局 (公財)茨城県総合健診協会 〒310-8501 水戸市笠原町 489-5 TEL 029-241-0011(代表) 会長連絡先 080-5429-8950	 〒310-0851 水戸市千波町 1679-6 TEL・FAX 029-305-4477 E メール info@bm-s.co.jp 担当: 武士